

商品名

MSC1-42 つぶつぶ補修材 NB

MSC1-42
JSIA F☆☆☆☆

MSC1-42 つぶつぶ補修材 NB は骨材入りなので塗装後のシール跡が目立ちにくく、ノンブリード配合のため下地シーリング材として使用した場合にも長期にわたって施工時の仕上げ状態を維持することが期待できます。硬化後の肉ヤセが少なく補修跡が目立ちにくくすることも期待できます。速硬化タイプのため、次工程に早く移ることができ、硬化後は適度なゴム弾性を有するため、ひび割れにも追従することができます。

■特長

- ◇骨材入り
塗装後のシール跡が目立ちにくい
- ◇ノンブリードタイプ
仕上げ塗材への黒ずみ、汚染がほとんどない
- ◇硬化収縮が少ない
- ◇速硬化
- ◇適度なゴム弾性

■用途

- ・Vカット、Uカット後の補修シール
- ・部材との肌合わせ用下地シール

■性状・性能

・一般性状

商品名	MSC1-42 つぶつぶ補修材NB
製品コード	MSC1-42
クラス	—
外観	ペースト状
混合比	—
色	ホワイト
有効期限	18ヶ月
粘度(Pa・s)	200~400:23℃
施工温度範囲	5℃~35℃
適応温度範囲	-20℃~90℃
塗装性	良好

・硬化性

硬化条件	硬化皮膜の厚み(日数)			
	2mm	5mm	10mm	15mm
5℃*50%RH	1	3	6以上	—
23℃*50%RH	1	2	6	—
50℃*50%RH	1	2	3	6

・硬化物物性(JIS K 6251 ダンベル状 3号形)

50%引張応力 (N/mm ²)	0.26
最大引張応力 (N/mm ²)	0.71
破壊時の伸び率 (%)	350
硬度 (ショア-A)	17

・JIS A 5758 又は JIS A 1439 に基づく性能

密度(g/ml)		1.20
タックフリー(分)	23℃	30
押し出し性(秒)	23℃	—
体積損失(%)		1.0





・引張接着性(JIS A 1439)

試験条件	養生条件	50%引張応力 (N/mm ²)	最大引張応力 (N/mm ²)	最大荷重時の 伸び率(%)
養生後	23°C	0.30	0.80	230
加熱後(90°C)	23°C	0.40	0.80	200
水浸せき後	23°C	0.20	0.20	100

使用プライマー:
P50
被着体:モルタル

■仕上げ塗材との付着性と汚染性

下表は一応の目安であり、仕上げ塗材の成分・メーカーによりバラツキが生じることがあるので、必要に応じてご確認下さい。

分類	通称例	付着性	汚染性
薄付け仕上げ材	アクリル(樹脂)リシン	○	◎
	弾性リシン	○	◎
複層仕上げ材	シリカタイル	○	◎
	弾性吹付タイル(防水型)	○	◎
厚付け仕上げ材	樹脂スタッコ	○	◎
水性塗料		○	◎
溶剤系塗料		○	◎
油性塗料*		×	×

・付着性・仕上げ塗材の付着の程度

○:良好、△:可、×:不可

・汚染性・施工された仕上げ塗材の軟化、変色等の汚れの程度

◎:良好、△:若干汚染するが、実用上ほとんど問題ない

×:汚染する

※油性やフタル酸の酸化重合型塗料を塗布すると乾燥しないことがあります。
水性塗料は、はじきに注意。

■留意事項

- 降雨、降雪時の施工は避けて下さい。
- 下地が濡れている場合は施工を避けて、十分に乾燥していることを確認の上施工して下さい。
- 被着面の油、ゴミなどの清掃には、溶剤を浸した布等できれいに清掃して下さい。

- 薄く施工することは避けて下さい。短期で白化現象を生じます。
- 瀝青物(アスファルトなど)の上に塗布すると接着面を冒しますので使用しないで下さい。
- 保存状態や期間によっては容器内で黄変することがありますが、性能に影響ありません。

■注意事項

- ・できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて手袋等の保護具を着用して下さい。
- ・プライマーP50の取扱い時には、火気や静電気に注意し、十分に換気を良くしてお使い下さい。また必要に応じて有機ガス用保護マスク、保護眼鏡をご使用下さい。
- ・廃棄処理は、産業廃棄物処理業者に委託して下さい。
- ・目に入った場合は、速やかに多量の水で洗い、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。

- ・誤って飲み込んだ場合は、多量の水を飲ませて吐き出させて、速やかに医師の診察を受けて下さい。
- ・子供の手の届かない冷暗所に保管して下さい。
- ・本品は建築用に開発された製品ですので、本用途以外には絶対に使用しないで下さい。
- *詳細の説明は、SDS(安全データシート)をご参照下さい。

■荷姿

●MSC1-42 つぶつぶ補修材 NB・・・320ml カートリッジ×10 本段ボール
◇色調:ホワイト

★お客様へ 本カタログに記載している情報及びデータは、当社の実験により細心の注意を払っていますが、ご使用に際しては貴社使用条件に適合するか必ずご確認願います。また、記載の荷姿、仕様に関しては断りなく変更する場合がございます。



<http://www.sharpchem.co.jp>
info@sharpchem.co.jp

■大阪本社
〒592-8352 大阪府堺市西区築港浜寺西町 12-1
TEL 072-268-0321 FAX072-268-0326

■東京営業所
〒135-0016 東京都江東区東陽 5-26-9
TEL 03-3649-8103 FAX03-3646-6011

■堺工場
〒592-8352 大阪府堺市西区築港浜寺西町 13-12
TEL 072-268-0322 FAX072-269-2810.

■札幌出張所
〒003-0824 札幌市白石区菊水元町四条 1 丁目 2-1
TEL 011-598-6814 FAX011-598-6824

■グローバルセンター
〒592-0001 大阪府高石市高砂 3-44
TEL 072-268-0323

■森夏化工科技(上海)有限公司
〒201402 上海市奉贤区大叶公路 2058 弄 16-1 号
TEL +81-21-57406320 FAX +81-21-57402721